



平成 20 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 橋本 昇  
( J A S D A Q ・ コード 6 8 3 8 )  
問合せ先  
役職・氏名 代表取締役副社長 山越 裕介  
電話 0 4 6 7 - 7 9 - 7 0 2 7

### 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想の修正及び特別損失の計上について

平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日）の連結業績予想について、平成 20 年 5 月 16 日に発表しました連結業績予想を下記の通り修正いたします。

( 1 ) 通期の連結業績予想の差異（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日）

( 単位：百万円、% )

|           | 売上高   | 営業利益    | 経常利益  | 当期純利益 |
|-----------|-------|---------|-------|-------|
| 前回予想 (A)  | 4012  | 135     | 108   | △76   |
| 今回修正 (B)  | 4012  | 118     | 108   | △408  |
| 増減額 (A-B) | 0     | △17     | 0     | △332  |
| 増減率       | 0.00% | △12.59% | 0.00% | —     |

#### 修正の理由（連結）

当社の連結子会社であるアプライト・テクノロジーズ社の業績は順調に推移しておりますが、監査法人との協議の結果、のれんを厳格に再評価し、一括償却するのが適当と判断し、合計 349 百万円を一括償却いたします。その結果、17 百万円を販売費及び一般管理費として計上し 331 百万円を特別損失として計上いたしました。のれんの一部（3 ヶ月分、17 百万円）につきましては当初営業外費用として処理しておりましたが、販売費及び一般管理費に計上しなおしたため、営業利益で 17 百万円の修正が生じました。売上高、経常利益については修正はございませんが、当期純利益につきましては、上記特別損失を計上したため、408 百万円の純損失となりました。

( 2 ) 特別損失の計上の理由

#### ( 連結 )

アプライト・テクノロジーズ社に対するのれんの一括償却の結果、追加で 331 百万円を特別損失として計上いたしました。

#### ( 個別 )

個別業績におきましては、関係会社株式評価損として 333 百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上